

くすりのしおり

内服剤

2025 年 10 月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：ロキソプロフェン Na 錠 60mg 「OHA」

主成分：ロキソプロフェンナトリウム水和物 (Loxoprofen sodium hydrate)

剤形：ごくうすい紅色の割線入り錠剤、直径 8.0mm、厚さ 3.1mm

シート記載など：ロキソプロフェン Na60mg 「OHA」、鎮痛・抗炎症・解熱のお薬です、
LoxoprofenNa60mg 「OHA」



この薬の作用と効果について

炎症に関与するプロスタグランジンの生合成を抑制し、消炎・鎮痛・解熱作用を示します。

通常、関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、歯痛、手術後、外傷後、拔牙後の鎮痛・消炎、急性上気道炎の解熱・鎮痛に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。消化性潰瘍、血液の異常、肝障害、腎障害、心機能不全、アスピリン喘息または既往歴がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（（ ）：医療担当者記入）
- ・関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、歯痛、手術後、外傷後、拔牙後の消炎・鎮痛：通常、成人は 1 回 1 錠（主成分無水物として 60mg）を 1 日 3 回服用します。頓用の場合は、1 回 1～2 錠（60～120mg）を服用します。年齢・症状により適宜増減されます。
- ・急性上気道炎の解熱・鎮痛：通常、成人は 1 回 1 錠（主成分無水物として 60mg）を頓用します。年齢・症状により適宜増減されますが、原則として 1 日 2 回まで、1 日最大 3 錠（180mg）が限度とされています。
- ・いずれも、空腹時に飲むことは避けてください。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時に 1 回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は、飲み忘れた分は飲まないで 1 回分を飛ばしてください。絶対に 2 回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、胃部不快感、腹痛、吐き気、食欲不振、下痢、便秘、胸やけ、口内炎、腹部膨満、口渇、浮腫、発疹、眠気、かゆみ、顔面熱感などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・顔面蒼白、呼吸困難、冷や汗 [ショック、アナフィラキシー]
- ・発熱、のどの痛み、出血傾向（鼻血、歯ぐきの出血、皮下出血） [無顆粒球症、白血球減少、溶血性貧血、再生不良性貧血、血小板減少]
- ・皮膚・粘膜が赤く腫れて発疹や水ぶくれができる、発熱、全身倦怠感 [中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑、急性汎発性発疹性膿疱症]
- ・尿量減少、むくみ、食欲不振 [急性腎障害、ネフローゼ症候群、間質性腎炎]
- ・呼吸困難、全身のむくみ [うっ血性心不全]
- ・急激な前胸部の圧迫感、胸の痛み、一時的な意識障害、手足の片側の麻痺、言語障害 [心筋梗塞、脳血管障害]
- ・発熱、から咳、呼吸困難 [間質性肺炎]
- ・血を吐く、便に血が混じる [消化性潰瘍、消化管出血]
- ・みぞおちの痛み、腹痛 [消化管穿孔]
- ・吐き気、腹痛、腹部膨満感 [小腸・大腸の狭窄・閉塞]
- ・全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる [劇症肝炎、肝機能障害、黄疸]
- ・発作的な息切れ、喘鳴 [喘息発作]
- ・発熱、頭痛、吐き気 [無菌性髄膜炎]
- ・筋肉痛、脱力感 [横紋筋融解症]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

SI③